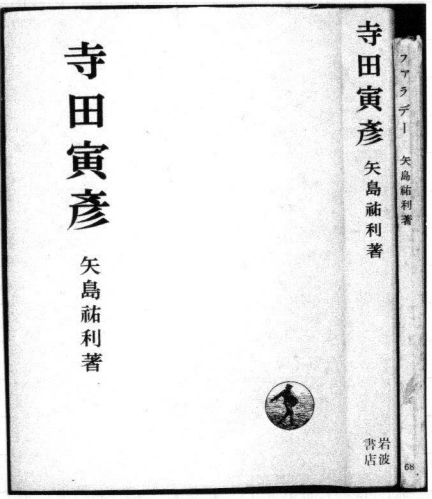


矢島祐利 （註） 科學史學者。明治二十六年五月一日栃木縣佐野生れ（一九〇三—）。大正十五年東京帝國大學理學部物理學科卒。昭和十六年京城帝大教授。東京理科大学の創設に参劃し、二十四年同大教授と成る。日本科學史、電磁氣學理論史、フアラデー科學史を研究。國際科學史アカデミー正會員。

著書「フアラデー」（昭和十五年七月十日岩波書店「岩波新書」）、
 「岩波」の軌跡—私の學生の頃第一集」（合著・學生書房編集部編、
 昭和二十二年四月二十日學生書房）、
 「科學文學」（昭和二十二年七月五日アルス「アルス選書」）、
 「寺田寅彦」（昭和二十四年十月二十一日岩波書店）、
 「電磁氣學史」（昭和二十五年九月二十五日岩波書店「岩波全書」）、
 「家事と雑用」（矢島ゼイ共著、昭和二十八年五月二十一日岩波書店「岩波婦人叢書」）、
 「フアラデー科學の物語」（昭和四十年一月二十日岩波書店「岩波新書」）、
 「フアラデー科學史序説」（昭和五十一年二月二十五日岩波書店）等。譯書「ジョン・チンダル著「アルプスの氷河」（第一部・昭和七年五月十五日、第二部・九月二十五日岩波書店「岩波文庫」）、
 同著「アルプスの旅より」（昭和八年四月二十日「岩波文庫」）、
 「フアラデー著・クルツクス編「蠟燭の科學」（昭和八年十一月十五日、改譯版「ロウソクの科學」二十一年九月五日「岩波文庫」）、
 「チンダル著「アルプス紀行」（昭和九年七月十五日、増補改訂版・十五年六月二十一日「岩波文庫」）、
 「フアラデー著「電



氣學實驗研究』 (裕沼瑞穂共譯、一・昭和十六年十一月十五日、一・
二十年七月十日「岩波文庫」)、ヘルムホルツ著「力の恒存について」
(昭和二十四年一月一日「岩波文庫」)、ユペルニクス著「天體の
回轉について」(昭和二十八年五月五日「岩波文庫」)、S・F・メ
イスン著「科學の歴史—科學思想の生なる流れ」全二冊(上・昭和二十
八年十一月、二十二年、下・二十一年一月、二十九年岩波書店)等。